

町民との意見交換会において所管課からの回答について

○総務課

質問

屋久島は全島での防災訓練がない。町としての避難訓練をすべきではないか。

回答

平成 27 年 5 月 29 日は「平成 27 年口永良部島噴火」が発生した日であるが、日頃から実施していた訓練の成果により、一人の犠牲者や逃げ遅れを出す事はなかった。町は、これを教訓とし、発生日である「5 月 29 日」を防災について考える日と位置づけ、町民一人ひとりが日頃の備えや、自身が生活する中での災害の危険性について、今一度考える機会としたく「屋久島町防災の日」を制定したいと考えている。「屋久島町防災の日」の活用による防災意識や自助、共助意識の高揚について、町からチェックシートチラシを配布することにより町民の皆様に対して取り組みへの参加を促していくことを計画しており、また来年度は、口永良部島噴火から 10 年を迎えることから、関係機関と協議しながら、「屋久島町防災の日」前後の土日に多くの町民参加のもと、防災訓練の実施を計画している。

本町は、地理的条件から、各集落で想定される災害種別が異なり、難訓練については、各集落がこれまで実施している訓練がより充実したものとなるよう、避難場所から町対策本部への情報伝達訓練等を含める等、各集落と協同連携した取り組みを進めていく。

質問

吉田地区避難所発電機メンテナンスの回数が少ないのでは。備蓄食品の賞味期限切れはどうか。

回答

吉田地区コミュニティセンターに設置してある、非常用自家用発電機については、電気事業法規定による自家用電気工作物には該当しないため、電気主任管理者による保安管理を行う義務はないところです。しかしながら、この施設は吉田地区の避難所として位置付けており、台風接近時等には実際に多くの住民が避難する施設であることから、良好な状態を維持するため 2 月に 1 回は電気主任管理者による保安管理を委託している。点検の際に不具合が発見された場合には可能な限り早急な修繕に努め、その結果、現在判明しているスターター等の不具合についても修繕するよう事務手続きを進めており、5 月末までには契約できる見込みです。

備蓄食品の賞味期限切れについては、在庫管理を適切に行い、単に処分することが無いよう、期限が切れる前に例えば学校等での防災に関する出前授業の機会や、各地区における防災会議等の場において、サンプルとして試食するなど有効活用したいと考えている。

○政策推進課

質問

旧尾之間庁舎の取壊しについて、その後の跡地利用について集落に対して説明を求める。

回答

当初の予定では、医療・介護・福祉に関する複合施設の建設を今年の夏頃に着工予定であったが、諸般の都合により事業内容や着工時期を見直すこととなり、事業者である医療法人観音会において改めて事業内容を整理している。

事業の進捗状況は町報や町のホームページほか、事業者側でも周知する予定であり、現在のところ説明会などは検討していない。

○生活環境課

質問

野良猫がふえている。町として補助を増やし、野良猫を減らして欲しい。野良猫にえさをやるとカラスが増えるのでネコを飼っている人の教育も必要。TNR を奄美は行政がやっている。本町では捕獲器を借りる手続きが面倒、区長のサインがなぜ必要か。

回答

捕獲機の借用手続きにおいては、過去において土地所有者への承諾なしでの設置が相次ぎ、町への苦情が多々あったことから、集落が関与して頂くことで住民間のトラブルを防ぎ、猫の適正飼育の気運を高めるためにも、区長の同意を得ることとしている。

不妊去勢手術補助はボランティア活動の方々や他と様々な意見交換を行い、協議を重ねた結果、雌の手術額が多額の事から雌猫の補助額を 5,000 円増額し、年間通して活用できるよう要項の改正を行った。

質問

海岸漂着ゴミはクリーンサポートセンターへの日曜搬入、また町で搬送できないのか。

回答

日曜搬入については職員配置のための運営管理委託費の見直しが必要となり、機器点検整備において通常業務に支障が生じる恐れがある。

海岸漂着ゴミ回収については、クリーンサポートセンターへの持ち込みを原則としてるが、困難な場合は、分別を行った上で「海岸ゴミ」と明記の上、近隣ゴミステーションに持ち込むことを認めている。現状の体制にご理解とご協力を求める。

○産業振興課

質問

長峰牧場で働く人が少ない、経営がなりたっているのか、採算はあるのか。広い牧場で鹿を飼って鹿肉を活用した一次産業をベースに畜産は安定していくのではないかな。

回答

屋久島町営長峰牧場は、民間事業者が有する専門知識や経営資源を町営牧場の管理運営に活用する事で、経営の合理化を目的とした指定管理者制度を令和6年4月より導入した。屋久島町営牧場等運営委員会を立ち上げており、今後も委員会を活用した健全運営に努めていく。

ヤクシカを飼う行為は、農林業被害軽減を目的とした個体数を減らす取り組みに逆行している。全国的にも慢性的な経営が現状であり、施設整備や維持管理費においても個体が小さく歩留まりが悪いヤクシカの取り扱いが厳しいと考える。

○社会教育課

質問

健康の森グラウンド・安房体育館の今後について複合的なビジョンについて考えがあれば示して欲しい。

回答

「屋久島町公共施設等総合管理計画」の基本方針の一つとして、【長寿命化の推進によるライフサイクルコストの軽減】が定められている。健康の森公園・安房体育館についても例外ではなく、施設が使用可能な限り使用し、計画的な点検や修繕、必要に応じて大規模改修を実施するなど、施設の長寿命化を図っていくこととしています。現時点において実業団等の受け入れが可能な新規施設の整備計画や既存施設の更新計画はありませんが、必要に応じてニーズの把握に努めたいと考えている。

質問

グラウンドゴルフの大きな大会ができるよう、旧一湊中グラウンドの整備ができないか。

回答

芝生広場の整備には多額の費用が掛かることや整備後の維持管理などの課題はありますが、一湊区をはじめ関係機関と継続的に協議を行い、事業化に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

○観光まちづくり課

質問

春田浜海水浴場休憩棟の解体後について。

回答

同海水浴場は多くの利用者が集う場所である。屋久島町都市公園条例において「春田浜海浜公園」と規定されており、観光・交流施設の観点から鹿児島県地域振興推進事業による整備も考えられ、関係各課で協議を行い、財源確保を見据えながら整備に向けて準備をしていきたい。

質問

人口減少対策として嫁取り対策は町として考えているのか。

回答

これまでの婚活イベントでカップルが成立し、成婚した方もいたため、一定の成果が得られている事を認識している。その後新型コロナウイルスの影響等で開催していなかったが、町民の方々からも結婚を望んでいる島内男女に出会いと交流の場を提供して欲しいとの要望もあり、今年度の事業実施に向け準備を進めているところです。